



平成25年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月8日

上場会社名 株式会社ブロードバンドタワー 上場取引所 大
 コード番号 3776 URL http://www.bbtower.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 藤原 洋
 CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 法務・経理統括 (氏名) 中川 美恵子 (TEL) 03-5202-4800
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第3四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	16,791	41.9	709	60.6	567	35.7	167	△8.2
24年6月期第3四半期	11,833	9.1	441	△21.9	418	△23.8	183	△32.9

(注) 包括利益 25年6月期第3四半期 228百万円(1.0%) 24年6月期第3四半期 226百万円(△31.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	3.87	3.87
24年6月期第3四半期	4.22	4.21

(注) 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき500株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第3四半期	11,723	5,608	44.4
24年6月期	8,275	5,429	61.6

(参考) 自己資本 25年6月期第3四半期 5,209百万円 24年6月期 5,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	500.00	500.00
25年6月期	—	250.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	1.00	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき500株の株式分割を行っておりますので、平成25年6月期(予想)の「期末」及び「合計」につきましては、株式分割後の株式数を基準に算定しております。

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,900	44.8	860	101.1	720	75.6	200	1,654.1	4.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年6月期3Q	51,435,000株	24年6月期	51,379,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年6月期3Q	7,980,000株	24年6月期	7,980,000株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期3Q	43,399,204株	24年6月期3Q	43,350,008株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき500株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。なお、当社は、平成25年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき500株の株式分割を行っております。そのため、「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の株式数により算定しております。
- 平成25年6月期の連結業績予想に記載の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、当第3四半期までの新株予約権の行使による増加株式数を反映させております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年7月1日～平成25年3月31日)におけるわが国経済は、電力料金の値上げや消費税増税の動きにより内需回復の足取りは重いものの、新政権の経済政策に反応した円安基調や株価上昇等、経済動向に変化の兆しが出てきております。

当社の主軸事業であるデータセンターを取り巻く環境におきましては、矢野経済研究所の調査によると、IT事業者によるデータセンターへの投資は引き続き堅調であり、事業継続対策や法規制への対応を目的に堅牢性が高くセキュリティ対策が万全なデータセンターを求める企業が増加していること及びサーバ台数増加への対応や消費電力の削減を目的にデータセンターにサーバを移行する企業が増加していること等から、企業からのデータセンターに対する需要は今後も堅調に推移すると見込まれております。

当社グループではデータセンター事業、クラウドサービス及びストレージ機器販売を主とするコンピュータプラットフォーム事業、連結子会社であるビービーエフ及びブランチ・アウトが行うファッション分野に特化したファッションビジネスプラットフォーム事業に分けて、それぞれ注力してまいりました。

こうした事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は16,791百万円(前年同四半期比41.9%増加)、営業利益は709百万円(前年同四半期比60.6%増加)、経常利益は567百万円(前年同四半期比35.7%増加)となりました。なお、四半期純利益につきましては、投資有価証券評価損83百万円を特別損失として計上した結果、167百万円(前年同四半期比8.2%減少)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別のサービス概況は以下のとおりであります。

コンピュータプラットフォーム事業では、データセンター事業を中心とするスペースサービス、c9Flexサービスを中心とするクラウドサービス及びストレージ機器販売を行うプロダクトサービスによる事業展開をしております。

スペースサービスにおきましては、当社のデータセンターは堅牢で柔軟性に富んだ設備で、大容量かつ高速なインターネット接続と快適なサーバの運用環境を提供しております。当社の主要顧客であるヤフー株式会社をはじめとする大企業を中心とした運用実績により培ったデータセンター運用ノウハウと総合的なソリューションが評価された結果、平成25年3月末時点のラック稼働率は90%となるとともに、データセンター内の電気料金等の見直しも行いました。

クラウドサービスにつきましては、お客様のニーズに対応したサービスの更なる拡充を図るために、新しいプライベートクラウドサービスの準備を進めており、今後、市場へ投入する予定です。

プロダクトサービスにつきましては、東日本大震災の影響を受けたデータ保護需要の高まりとサーバ仮想化の本格導入に伴うストレージ運用の高度化要求に加え、ビッグデータの活用で代表されるデータの高度利用等により、ストレージ市場は引き続き伸長しております。当社が取り扱う米国EMC社製のスケールアウトNASストレージである「Isilonシリーズ」は、フジサンケイグループの中核企業として、放送業界のシステムおよびネットワーク関連のインテグレーション、Webサイトや放送系デジタルコンテンツの制作等を行う株式会社フジミック、動画配信に関わる総合的なサービスとリッチコンテンツを活用したソリューションを提供する株式会社Jストリーム等、数多くの企業にご利用頂いております。

以上の活動の結果、コンピュータプラットフォーム事業の売上高は6,247百万円(前年同四半期比0.2%減少)、営業利益は308百万円(前年同四半期比9.8%増加)となりました。

一方、ファッションビジネスプラットフォーム事業では、ビービーエフが行うECシステム構築支援・運用サービス、TVショッピング支援事業及びブランチ・アウトが行うファッションホールセールサービスを主軸とした事業を展開しており、ファッション業界のバリューチェーンにおいて様々な機能を提供しています。

ECシステム構築支援・運用サービスにおきましては、ECシステムの企画・開発から、販売、在庫管理、流通機能までを一括して請け負っています。ファッションEC事業において必要となる様々な機能をワンストップで提供できるプラットフォームが評価された結果、前期までに獲得した既存顧客の売上高は引き続き伸長するとともに、既存顧客からの口コミ等により小物等のファッション関連企業のお客さまも新たに獲得し、平成25年3月末時点のサイト数は73サイトとなりました。

TVショッピング支援事業におきましては、ビービーエフが株式会社QVCジャパン(以下、QVCジャパン)を中心とするTV通信販売会社とファッションメーカーを繋ぐことで、商品企画、在庫・生産管理から販売に至るプロセスを支援する事を可能としています。なお、主要取引先であるQVCジャパンにおいて、ビービーエフは2年連続で最も取扱量の多いベンダー(販売会社)となり、表彰をされました。今後も新規提案を積極的に行い、規模拡大に努めていきます。

ファッションホールセールサービスにおきましては、大手小売店に対して婦人服や紳士服、子供服などの衣料品の販売・企画・デザイン・生産全般を行っています。また、当サービスは平成25年の1月から2月にかけて厳しい冷え込みが続いたことで春物販売は伸び悩みましたが、それまでの販売が好調であったこともあり、当第3四半期連結累計期間では堅調に業績を伸ばしています。

以上の活動の結果、ファッションビジネスプラットフォーム事業の売上高は10,544百万円(前年同四半期比89.1%増加)、営業利益は397百万円(前年同四半期比148.1%増加)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,448百万円増加し、11,723百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加1,205百万円及び子会社の新規連結に伴うのれんの増加991百万円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,270百万円増加し、6,115百万円となりました。これは主に、買掛金の増加808百万円及び借入金金の増加1,895百万円によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ178百万円増加し、5,608百万円となりました。これは主に、四半期純利益167百万円の計上による利益剰余金の増加、剰余金の配当65百万円及び少数株主持分の増加56百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが行っている事業の状況について、コンピュータプラットフォーム事業におきましては、コストの見直し及びデータセンターに係る電気料金の見直しを行った結果、通期におきましてもかかる費用が予想値を下回る見込みであります。また、連結子会社である株式会社ビービーエフ及び株式会社ブランチ・アウトが行うファッションビジネスプラットフォーム事業におきましては、上期に続き下期においても販売活動は好調に推移しております。

このような状況の中で、当連結会計年度（平成25年6月期）の業績見通しにつきましては、連結売上高22,900百万円、連結営業利益860百万円、連結経常利益720百万円、連結当期純利益200百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

当第3四半期連結会計期間において、平成25年10月に第一サイトの一部フロアを解約することを決定いたしました。これにより、解約に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

また、この決定に伴い、当該フロアの建物賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、より精緻な見積りが可能になったため、見積額の変更を行い、償却に係る合理的な期間を短縮し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ8,789千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,650,618	3,111,141
受取手形及び売掛金	1,573,619	2,779,032
有価証券	—	499,948
商品及び製品	306,932	751,089
繰延税金資産	58,788	121,060
その他	226,182	207,636
貸倒引当金	△2,363	△2,971
流動資産合計	4,813,778	7,466,938
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,037,327	924,912
機械及び装置（純額）	304,223	297,270
工具、器具及び備品（純額）	316,476	338,655
土地	—	1,078
リース資産（純額）	7,942	16,016
建設仮勘定	—	653
有形固定資産合計	1,665,969	1,578,588
無形固定資産		
のれん	—	991,538
その他	162,319	196,810
無形固定資産合計	162,319	1,188,348
投資その他の資産	1,633,115	1,489,608
固定資産合計	3,461,404	4,256,545
資産合計	8,275,182	11,723,483

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,366,273	2,174,441
短期借入金	—	500,000
1年内返済予定の長期借入金	405,000	400,000
未払法人税等	16,409	211,593
賞与引当金	29,641	94,240
返品調整引当金	—	1,624
資産除去債務	—	53,504
その他	411,433	650,085
流動負債合計	2,228,758	4,085,489
固定負債		
長期借入金	—	1,400,000
退職給付引当金	—	17,849
役員退職慰労引当金	—	58,333
資産除去債務	611,620	543,252
その他	4,919	10,535
固定負債合計	616,540	2,029,970
負債合計	2,845,298	6,115,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,205	2,325,907
資本剰余金	2,306,493	2,309,195
利益剰余金	2,699,076	2,801,977
自己株式	△2,228,332	△2,228,332
株主資本合計	5,100,444	5,208,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,752	1,150
繰延ヘッジ損益	△1,380	—
その他の包括利益累計額合計	△4,133	1,150
新株予約権	18,879	27,278
少数株主持分	314,692	370,845
純資産合計	5,429,883	5,608,024
負債純資産合計	8,275,182	11,723,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成25年3月31日)
売上高	11,833,830	16,791,734
売上原価	10,248,435	13,942,834
売上総利益	1,585,394	2,848,900
販売費及び一般管理費	1,143,871	2,139,848
営業利益	441,523	709,051
営業外収益		
受取利息	725	938
受取配当金	—	69
業務受託手数料	1,965	1,870
還付加算金	—	2,003
原状回復費	—	2,175
その他	885	2,605
営業外収益合計	3,576	9,663
営業外費用		
支払利息	11,430	34,214
支払手数料	—	92,500
出資金評価損	8,543	1,475
その他	7,122	23,154
営業外費用合計	27,097	151,344
経常利益	418,002	567,371
特別利益		
新株予約権戻入益	—	124
投資有価証券売却益	12,824	—
合意解約金	20,000	—
特別利益合計	32,824	124
特別損失		
固定資産除却損	3,010	9,556
投資有価証券評価損	—	83,763
賃貸借契約解約損	2,969	—
特別損失合計	5,980	93,319
税金等調整前四半期純利益	444,847	474,176
法人税、住民税及び事業税	87,279	251,436
法人税等調整額	135,140	△590
法人税等合計	222,419	250,845
少数株主損益調整前四半期純利益	222,427	223,330
少数株主利益	39,399	55,331
四半期純利益	183,027	167,999

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	222,427	223,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	866	3,903
繰延ヘッジ損益	2,959	1,380
その他の包括利益合計	3,825	5,283
四半期包括利益	226,253	228,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,853	172,461
少数株主に係る四半期包括利益	39,399	56,153

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータ プラットフォーム 事業	Eコマースプラ ットフォーム 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,258,579	5,575,251	11,833,830	—	11,833,830
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,134	3,400	13,534	△13,534	—
計	6,268,713	5,578,651	11,847,364	△13,534	11,833,830
セグメント利益	281,115	160,362	441,478	45	441,523

(注) 1 セグメント利益の調整額45千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータ プラットフォーム 事業	ファッションビジ ネスプラットフォ ーム事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,247,521	10,544,212	16,791,734	—	16,791,734
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,262	2,250	14,512	△14,512	—
計	6,259,783	10,546,462	16,806,246	△14,512	16,791,734
セグメント利益	308,549	397,830	706,379	2,672	709,051

(注) 1 セグメント利益の調整額2,672千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

「ファッションビジネスプラットフォーム事業」において、平成24年8月22日付で株式会社ブランチ・アウト・デザイン的全株式を取得し、同社及びその子会社である株式会社ブランチ・アウトを連結子会社としたことにより、セグメント資産が3,674,940千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

第2四半期連結会計期間より、株式会社ブランチ・アウトを連結子会社を含めたことにより、「Eコマースプラットフォーム事業」を「ファッションビジネスプラットフォーム事業」に名称変更し、当該連結子会社を「ファッションビジネスプラットフォーム事業」としております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ファッションビジネスプラットフォーム事業」において、株式会社ブランチ・アウト・デザインの全株式を取得し、同社及びその子会社である株式会社ブランチ・アウトを連結子会社といたしました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において991,538千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

重要な子会社の設立

当社は、平成25年4月26日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社ビービーエフの中国子会社設立について決議いたしました。

1. 子会社設立の目的

成長著しいマーケットとしての中国国内において、消費者の繊細な動向を直接把握できる環境を構築するとともに、株式会社ビービーエフ及び株式会社ブランチ・アウトが日本で培った事業ノウハウを現地で直接展開することにより、ファッションビジネスプラットフォーム事業の更なる拡大を目指し、中国に完全子会社を設立するものであります。

2. 設立する子会社の概要

- | | |
|------------|------------------------------|
| (1) 商号 | 上海布藍綺国際貿易有限公司 |
| (2) 所在地 | 中華人民共和国上海市長寧区(予定) |
| (3) 代表者 | 董事長 田村 淳(株式会社ビービーエフ 代表取締役社長) |
| (4) 登録資本金 | 1,000,000人民元 |
| (5) 設立年月日 | 平成25年7月(予定) |
| (6) 主な事業内容 | 衣料品等の卸売、デザイン・企画、EC事業、輸出事業 |
| (7) 出資比率 | 株式会社ビービーエフ(100%) |
| (8) 決算期 | 12月31日 |

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当社グループは、生産に該当する事項がないため、生産実績に関する記載はしていません。

② 受注実績

当社グループは、受注生産を行っておりませんので、受注実績に関する記載はしていません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)	前年同四半期比(%)
	金額(千円)	
コンピュータプラットフォーム事業	6,247,521	△0.2
ファッションビジネスプラットフォーム事業	10,544,212	+89.1
合計	16,791,734	+41.9

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
ヤフー株式会社	3,485,480	29.5	3,376,596	20.1
株式会社QVCジャパン	2,959,996	25.0	3,183,632	19.0
株式会社しまむら	—	—	2,593,430	15.4

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

4 ファッションビジネスプラットフォーム事業において販売実績が著しく増加しておりますが、これは主に、株式会社ブランチ・アウトが連結子会社となったことによるものであります。